

令和4年7月13日

島根県内の新型コロナウイルス感染症新規陽性者数の急増を踏まえた本学の対応について

島根大学長 服部 泰直

7月12日に島根県において過去最高となる1,262人の陽性者が確認され、また本学においても先週1週間において42人の陽性者が確認されるなど、島根県における感染拡大傾向がより顕著となっています。

また、本学におけるこれまでの感染状況を検証したところ、

- ・感染経路としては飲食や家庭内感染が主であり、本学における教育研究活動を要因とする感染事例は極めて少ない
- ・感染対策下での対面授業や研究活動の感染リスクは低い

と現時点で判断しています。

学内における行動制限よりも学生・教職員がそれぞれの自覚に基づき基本的な感染対策を徹底することがより重要であると考えられます。このことを踏まえ、行動指針の段階引き上げは現時点では行いませんが、今後の感染状況によっては改めて見直す場合があります。

なお、基本的な感染対策に関しては、特に下記についてご留意ください。

残り少ない前期の教育研究活動が最後まで充実したものとなるよう、皆様のご協力をお願いします。

**【基本的な感染対策のうち、特に留意すべきこと】**

**・体調不良時のキャンパス入構・他者との接触は行わない！**

現在流行中のBA.5は従来の株と比べ発熱・咽頭痛が生じやすい傾向にあります。感染拡大防止のため、少しでも体調不良を自覚した際は必ず控えてください。

**・飲食・カラオケの開催は慎重に判断を！**

複数人でのマスクなし飲食・カラオケが感染事例の多くを占めています。感染拡大傾向が収まるまでの間、延期も含め、開催は慎重に判断してください。